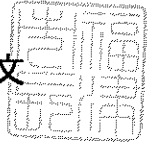


20福建第 481 号  
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

福津市長 池浦 順文



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の件  
について、別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県福津市

・ 地方道路、橋梁の維持・補修事業への予算の重点化

近年では、地方の道路や橋梁の新設よりも維持・補修事業の需要が高まってきている。災害対策も含めて、地方の道路や橋梁の維持・補修・点検事業に対する補助の強化をお願いしたい。

・ JR関連工事に対する国の調整機能の強化

駅自由通路整備をまちづくり交付金事業で取り組んでおり、JR九州への委託事業となる。しかし、会計検査でも指摘されているが、JRが工事費内訳等を公表しない。市町村レベルでのJRとの交渉では限界があるため、国レベルで調整していただきたい。

また、今後のJRとの協議については、「自由通路の整備・管理に関する基本ルールについて（案）」に基づいて協議を進めていく予定であるが、協議が不調の場合は、九州地方整備局も積極的に協議に参加していただき、市の支援をお願いしたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

福岡県福津市

○現状

・ 広域的な観点での道路整備

福津市は、福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、交通の便が非常によかったことから、人口が急速に増えた地域である。ここ数年こそ、少子高齢化の影響もあって人口の伸びは収まっているが、周辺市町村を含めた広域道路の渋滞が大きな課題となっている。

また市沿岸部の交通を担ってきた西鉄宮地岳線が平成１９年３月に廃止されたことから、特に通勤・通学する人の代替交通の確保が急務となっている。

・ ユニバーサルデザインに配慮した道路整備

全国的な高齢化の波は福津市でも例外はなく、高齢者はもちろん障害を持った方々にも、安心・安全な道路環境の確保が求められている。特に福津市では、合併前の旧福岡町時代に策定した「ユニバーサルデザイン計画」が「交通バリアフリー法に基づく基本構想」の第１号として認定されているので、重点整備地区として定めた２つの地区の早急な整備が求められている。

○課題

- ・ 国道３号の３車線化の早期実現
- ・ 県道飯塚福岡線の福津～宮若間のトンネル化の早期実現
- ・ 旧西鉄宮地岳線跡地の利用の可能性の検討及び事業化

- ・ 歩車道の段差の解消
- ・ 電線共同溝事業
- ・ 自転車道整備

②－２ 地域の目指すべき将来像

福岡県福津市

・ 広域道路ネットワークの整備

市民生活の更なる広域化に対応すべく、国道、県道、幹線市道を一体的に捉えた広域的な道路交通体系を整備していきたい。

・ 安全、安心な生活道路の確保

日常の快適な市民生活に欠かせない一般市道の点検活動を充実し、拡幅、改良、交通安全施設の充実、維持・補修を着実に進め、市民が安心して安全に通行できる道路環境を維持していきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県福津市

| ○重点事項                                                                   | ○代表事例                                                                         | ○期待する効果や評価等                                                                                                                                                                                                                          | ○その他 |
|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域活力の向上</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R 福間駅の改築と周辺道路整備</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の J R 福間駅は、駅西口のみからの出入りしかできないため、東口の市民は非常に不便であり、また、西口に車や自転車が集中するため、朝夕のラッシュ時にはとても混雑している。これを駅舎の改築と合わせて、駅東口の駅前広場整備、駅東西を結ぶ自由通路の整備、さらには駅周辺の市道、県道の一体的な整備等を行うことにより、渋滞の緩和、交通安全の確保が期待できる。</li> </ul> |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルデザインに配慮した道路整備</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電線共同溝事業</li> <li>・ 自転車道整備</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在部分的であるが、国や県の協力を得て、電線共同溝事業と自転車道整備事業に取り組んでいる。まだ、モデル地域的な整備しかできないが、これを基点にハード整備と合わせて、道路や歩道を利用する人のマナーや思いやりといった、ソフト面の広がり期待できる。</li> </ul>                                                        |      |